

にのみや気候市民会議（第5回）実施結果

日 時：令和6年11月24日（日） 午後1時30分から午後4時30分

場 所：生涯学習センターラディアン ミーティングルーム2

参加者：22名

・町 民 17名

・町職員 5名

講 師：室田憲一氏（東海大学 教養学部 人間環境学科教授）

傍聴者：7名

I. 概要

第5回にのみや気候市民会議は、前回に引き続き東海大学教養学部人間環境学科の教授であり、二宮町環境審議会の会長である室田憲一氏をファシリテーターにお迎えし、「自然環境」、「エネルギー」、「移動」、「循環型社会」の4つのグループに分かれ、最終議論（話し合い）を行い、「市民提案」をまとめました。

最後に、参加者から町民へのメッセージとして、市民提案の実現に向けて私たちにできること・求められることは何かについて、一人一人の思いを発表しました。

II. 当日の流れ

1. 事務局説明

事務局より、第4回の振り返りと第5回にのみや気候市民会議の流れについて説明を行いました。

※詳細は「事務局スライド（P2～P12）」を参照

2. 議論（話し合い）

議論（話し合い）①

「自然環境」、「エネルギー」、「移動」、「循環型社会」の4グループに分かれて「テーマと目標の設定」を行いました。

議論（話し合い）①

～ テーマと目標の設定 ～



10

議論（話し合い）②

「自然環境」、「エネルギー」、「移動」、「循環型社会」の4グループに分かれて「提案の具体化」を行いました。

議論（話し合い）②

～ 提案の具体化 ～



11

議論（話し合い）①・②に関する発表

各グループの発表者より、グループ内でまとまった提案について発表していただきました。

【自然環境】

〈発表内容〉

自然環境グループは、「自然はともだち」をテーマとし、自然環境を山・川・農地・市街地・海の5つのエリアに分け、それぞれのエリアで目標と具体的な取り組みについて検討した。

目標は、山では「保水力が高く魅力的な里山」、川では「誰もが過ごせる川」、農地では「耕作放棄地の利活用促進」、市街地では「夏でも外で過ごせる町」、海では「居たくなる海」とし、5つのエリアに共通する提案は、「自然を地域の宝として、活かし循環を促進させること」、「みどりの質と量を高めること」、「持続可能な取り組みにしていくこと」である。

具体的な取り組みは、「子どもや若者も含めた、あらゆる世代に自然との共生についての体験学習の機会を豊富に設けること」、「グリーンインフラ/有機土木を最大限に使用すること」等である。

自然環境グループは、目標の実現にあたって、「町民」は楽しみながら主体的に行動し、「行政」は教育委員会を含めて、各所の計画や事業に横断的に反映させ、予算を計画的に確保しながら早急に取り組むことで、気候変動のスピードを緩め、今を楽しく涼しく過ごすことと、未来の地球が快適であることの両立を可能できると考える。

【エネルギー】

〈発表内容〉

エネルギーグループは、「二宮から始まる星降る町へ」をテーマとし、目標や具体的な取り組みについて検討した。

目標は、「環境にいい暮らしが自然とできる二宮町」、「夜は自然と暗くなる二宮町」、「環境問題を解決する人材を育てる二宮町」「ゼロカーボン達成の二宮町」の4つである。

具体的な取り組みは、「環境サポート窓口や補助金申請などのカンタン化をすることで再生可能エネルギー由来の電力に切り替えやすい仕組みづくりの創出」、「環境について対話する場の創出」、「幼少期からの環境意識の醸成」等である。

エネルギーグループは、目標の実現にあたって、疲弊や犠牲が起こることのないように、「知る」、「考える」、「行動する」、「変わる」のサイクルを真摯に見つめて取り組む姿勢が大事であると考えている。

【移動】

〈発表内容〉

移動グループは、「二宮町公園化計画」をテーマとし、目標や具体的な取り組みについて検討した。

目標は、「楽しく歩ける町」、「バスに乗ろう」、「その移動って車使う?」、「自転車に乗ろう」の4つとし、4つに共通して重要となるのは、「目に見えるメリットをはっきりと示すこと」である。

具体的な取り組みは、「徒歩での移動が楽しく、楽になるようにする工夫をすること」、「家族や友人と移動について考えてもらうこと」、「近所への買い物や用事は『脱・クルマ』を心がけるようにすること」、「二宮町は坂道が多いことを考慮し、電動アシスト自転車の普及を進めること」等である。

移動グループは、目標の実現にあたって、目に見えるメリットを示すことで、気候変動をはじめとする環境問題について考える機会の創出や町民同士の繋がりが生まれると考える。また、二宮町全体を公園化することで、コンパクトに移動しやすくなり、二宮町を大切にする気持ちが生まれるのではないかと考える。

【循環型社会】

※名称の変更についてグループから提案があったため、「消費と廃棄」から「循環型社会」に名称を変更。

〈発表内容〉

循環型社会グループは、「つながりがめぐる やさしい町」をテーマとし、目標や具体的な取り組みについて検討した。

目標は、「あらゆる資源がぐるぐるまわる、ごみゼロの暮らし」、「人と人がつながって、今あるものを分け合える町」、「顔の見える人がつくったものを買い・食べ・つかって うれしくなる町」の3つである。

具体的な取り組みは、「にのみや型の循環システムをつくること」、「日常的な使い捨てプラスチックゼロの暮らしを広めること」、「人と人が繋がり、あらゆるモノ・コトを分け合うことのできる循環システムをつくること」、「町内の生産者へのサポート体制を手厚くし、新たな生産者の育成に繋げること」等である。

循環型社会グループは、目標の実現にあたって、将来世代への負担を減らし、心穏やかに過ごすことのできる町を目指すとともに、消費から廃棄までの過程のみならず、生産から流通における段階においても資源が循環するシステムへと転換する必要があるため、さまざまな立場からの連携を深めることを求める。

3. 気候市民会議参加者から町民の皆様へのメッセージ

「市民提案の実現に向けて町民・事業者・行政ができること・求められること」について発表を行いました。

気候市民会議を終えて

～ 町民のみなさんへのメッセージ ～



13

フリップにマジックで大きめにご記入ください。

にのみや

Q. 市民提案の実現に向けて、私たちにできること・
求められることは何だと思いますか？



ニックネーム

気候市民会議

14

発表後、撮影席でフリップと写真を撮ります。



15

〈発表内容〉

区分	ニックネーム	発表内容（～ 町民のみなさんへのメッセージ ～）
町民	M：l e n a	エアコンに頼らない体作り暑い寒いと文句を言わない室外機から出る空気のことを考えよう
町民	たかちゃん	・山の再生：CO2 吸収源の木の植林 ・省エネの推進 ・照明、待機電力 ・焼却にやさしい家庭ゴミに
町民	モリモリ（森を守り隊）	電気を 作ります。貯めます。減らします。シェアします。
町民	ボナ	1人1人の小さな意識の進化
町民	ヒロ（いなば）	・老人世帯への御用聞き。 ・安否確認と買い物の補助！

町民	いわまん	千年続く二宮のことを考えるようになったら町の中にお友達が増えたよ 家族と話しをたくさんするようになったよ お年寄りの暮らしに目を向けるようになったよ 子どもたちの声に耳を傾けるようになったよ 私気持ち がやさしくなったよ
町民	カブさん	フードロスを少しでもなくし生ゴミをコンポストを使って堆肥化していきます。
町民	サノ	・環境問題に対して危機意識を持つ。 ・環境問題を解決するために協力すること。 ・次世代の人たちのことを考えること。
町民	しょうちゃん	人と人との繋がりを持ち、ここ二宮から変化を起こす勇気を持つ！
町民	ニシさん	楽しく歩ける町 ①健康・自然・出会いを体験することにより CO2 の削減を図る。②自動車の利用を減らせることが CO2 の削減につながる！ ③バス・電動自転車の利用推進。
町民	よっしー	自然と共にくらすを深掘り。くらしを見つめる余白にあるくらし
町民	やまと	たくさん勉強すること！
町民	名無し	ゼロカーボンシティへ ①CO2 排出量調査 ②部門別削減目標 ③4 部門の削減戦略 ⑤日程作製
町民	けんちゃん	勉強になりました。フードロスをへらそうと思います。
町民	山川	地球環境の問題をいかに個人個人が展開できるか。 公民全体にどう展開し、一致した行動につなげるか。 さらにその行動をどう評価（数値化）して継続展開していくか見まもっていきたい

町民	サク	学校でしっかりとした環境教育が行われる町 + 部活に行くときはなるべく歩く！ ムダな買い物をしない！
職員	オオキ	家族で出かける時は毎回移動手段を話し合う！
職員	トリ	生ごみをしぼって町の予算をしぼり出す。
職員	マーシー	消費、排出を一気に減らすのではなく、無理なく少しずつ減らして行きたい。
職員	そえちゃん	すぐにできることとして省エネになるようすぐにエアコンを使うような生活をしない
職員	てんちゃん	今ある資源を大切に使い、ごみに出す前に、リサイクルできるよう工夫したい。
講師	ムロタ	知る。考える。行動する。変わる!!
町長	ちょうちょう	さまざまな主体が連携しパワーを出し合う二宮町
ファシリ	テツ	町民みんなで会話とシステムチェンジ
ファシリ	ゆーこ	忙しすぎると雑になる。時間をかけてじっくり選ぶ暮らしをつくる！
ファシリ	つつちー	みんなで考えればどんなことでもできる！
ファシリ	なかいちゃん	①夏こそ外!! ②おいしく楽しく自然を満喫 ③みんなと話すことを続けること

ファシリ	しづ	自然との共生ができる暮らし方を実現していく。のちの世代にこれ以上ごみを残さない！
ファシリ	てんちゃん	くるしみを楽しみに変えていくチカラ
ファシリ	あだち	行政・町民・事業者のつながりが大切

4. 町長挨拶

お疲れ様でした。全5回のみにのみや気候市民会議にボランティアであるにも関わらず参加してくださり誠にありがとうございます。皆さんのお時間をつかい、作っていただいたこの市民提案書は町の施策に必ず活かしていきますので、ご安心ください。

これから計画の策定も控えておりますし、町として一つ一つできることから行っていきます。

本当にありがとうございました。